

MORI のめざめ

4月号

[発行元] 社会福祉法人 奉優会
港区立特別養護老人ホーム 白金の森
[編集] 白金の森 事務課 芦田
[お問い合わせ先] 03-3449-9611(代表)
[HPアドレス] <http://www.foryou.or.jp>

お花見ドライブへ行きました

良く晴れた4月の初旬、桜が満開の時期に
目黒川沿いにドライブへ出掛けました。



白金の森号に乗って、Let's GO!!



暖かくなって、久々の外出でした。車内では「大人数で行くから楽しい♪」とのお声が聞けました。



「きれい、ほら見てみて」
と満開の桜をながめて。



桜の素晴らしさを、手をたたいて表現される一面もありました。皆様に楽しんでいただけました。

外食企画

介護スタッフ付き添いのもと、フレンチレストラン
パラディ白金にランチに行ってきました♪



文・介護課 石原桃子
フレンチレストランにコース料理を7名の入居者様とランチを食べに出掛けました。おしゃれに着替えて、車に乗って出発すると、よそ行きの顔に変わっていつもとは違った一面を知ることができました。付き添った職員も一緒に楽しむ事ができ、素敵な思い出ができました。今後、もっと入居者様に喜んでいただけるような企画を考えていきたいと思いました。

新人さんいらっしゃい

新しく入社した職員をご紹介します。



作業療法士
白井 悠

私は利用者様のリハビリを担当させて頂いております。少しでも多くの笑顔が見られるように精一杯がんばりますので、見かけたらいつでも声をかけて下さい。



生活相談員
濱 こむぎ

慣れないことばかりで緊張の毎日ですが、利用者様のちょっとした一言などに癒されています。日々勉強することばかりですが、早く利用者様のお顔を覚えられるように頑張ります。よろしく願い致します。



生活相談員
新山和彦

はじめまして。白金の森で勤務することになりました。ご利用者様ひとりひとりの為に、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



栄養課からのお知らせ

4月より新たに配属となった管理栄養士の
児玉さんをご紹介します。



管理栄養士
児玉 祐香

♪始めまして♪

4月から白金の森の管理栄養士をさせていただきます。前職は保育園で栄養士をしていました。昨年、管理栄養士の資格を取得し、これからは管理栄養士として仕事を頑張っていきたいと思います。何もわからない未熟者の私ですがこれからよろしくお願いします。

皆さんに美味しいお食事をお届けしていきたいと思います。それだけではなく食事でのレクリエーションもやっていきたいと思います。一緒に楽しい体験、思い出が増えれば良いなと思いますのでよろしくお願いします。

白金の森には団体・個人含めて 37 件ものボランティア登録があり、日々さまざまな活動をして頂いております。こちらでは、そんなボランティアさんの一つ一つご紹介していきます。

ボランティアのページ



今回は

茶道クラブ

5 月

行事日程

〔活動内容〕月 1 回木曜日
個人ボランティア 2 名で活動中

講師の杉原先生は、クラブ活動にいらっしゃる入居者様に日本のすばらしい四季を感じて頂けたら、という気持ちで季節の和菓子やお抹茶とともに歳時記のお話をしてくださっています。少しでも和んで頂けるような雰囲気作りをスタッフと一緒にしてくださっています。

また、杉原先生は白金の森にボランティアとして来所し素敵な歳の重ね方をされている入居者の方々と接することで幸せな気持ちになれると話されていました。

ご興味のある方は、是非茶道クラブへ遊びにいらして下さい。

—予定—

ホーム喫茶

【5月 7、10、14、17、21、28、31 日】

音楽演奏

【5月 8、15、22 日】

茶道クラブ

【5月 17 日】

華道クラブ

【5月 10 日】

買い物代行

【5月 4、18 日】

朗読

【5月 26 日】



シリーズ 介護の現場から

近年、医学の進歩は目覚ましいものがあり、日本の平均寿命の延びにも大きく関与している。人には必ず「老い」がやってくる。その時になって初めて、自分の周りの環境に多くの疑問を持つことになるだろう。そして、それは介護される側になった時でも同じである。

障害を理解することは、その人を理解することにもつながっていく。より良い介護を行っていく中で、「障害を知って行う」と「知らずに行う」とでは介護の度合いが違ってくる。

【脳卒中】

脳血管障害ともいわれ、脳の血管から出血する脳出血、脳表層の血管が破れるくも膜下出血、脳の血管が詰まる脳梗塞がある。これらの血管障害の基礎疾患には糖尿病、高血圧などの生活習慣病が存在する。

〈症状〉

- * 麻痺（運動、感覚）
- * 高次脳機能障害（失言・失行・失認）
⇒思うように動作ができない。
- * 筋緊張の異常（亢進・低下）
- * その他（バランス障害、筋力低下など）

〈合併症〉

- * 褥瘡 * 尿路感染
- * 呼吸器感染 * 関節の拘縮

〈援助と予防〉

看護、介護を行う上で、症状が軽～中度の人であれば、介助は必要最低限にすることが大切である。介助を担当すると必要以上に手伝わってしまったら、時間が掛かるので待てないということで介助しすぎたりするという問題が生じ、かえって自発性が損なわれ運動を阻害してしまう。また、重度の人では寝たきりの人が多く、ベッド上での良肢位保持と合併症の予防が大変重要で基本的なことである。

参考書籍：『介護教育 基本テキスト』日総研出版

ケアマネージャーの ひとりごと

文・成田 寛一郎



先日ご入居者と職員が車で買い物へ外出する企画がありました。少し遠い大手のスーパーへの外出で、ご入居者はもちろん、職員も楽しみにしていた企画です。私は外出から戻ってきたご入居者と職員の顔を見て思わず笑顔になってしまいました。職員本人は気が付いていないようですが、いつも以上の満面の笑顔で、「試着をして買ったんです。」と、興奮気味に報告。ご入居者だけではなく、職員も一緒に楽しんできたことが一目でわかる素敵な場面でした。

若葉の声

新入社員とご利用様様の
“今”をお伝えします。



こんにちは。介護1課の佐々木晶です。
早いもので白金の森で働かせて頂き1年となりました。この1年間自分の力不足に悩んだり迷ったりする事ばかりでしたが、そんなときいつも力を頂いていたのは入居者様の存在です。中でも「あんた子供産まれたら連れてきなさい！そしてたらあたしのひ孫！」と言って頂いたことが1番嬉しかったです。この場を借りていつも助けて下さる入居者様たちにお礼の言葉を言わせて下さい。いつも本当にありがとうございます。これからもおちゃめでステキな笑顔をたくさんみせてください！

